



広報 なかわだ

第422号

2015年5月3日

2015年5月

中和田カトリック教会
広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

イタリア巡礼記（一）

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

2012年11月24日横浜教区は天主堂献堂150周年記念をパシフィコ横浜ホールにおいて盛大に祝われたことはまだ記憶に残っています。またその同じ年に日本二十六殉教者列聖150周年記念の年でもありました。この春まで長崎大司教区、カトリック中央協議会発行の絵葉書がテーブルに置かれていました。

この3月にイタリア巡礼に日本二十六聖殉教者に捧げられた教会を訪れました。ローマから国鉄で一時間程でテレニア海に面した港町チベタベッキアに着き、駅前にフランシスコ会創立の教会がありアッシジの聖フランシスコ像が立っています。教会の内陣に長谷川路可画伯による和服（着物）の聖母子フレスコ画と二十六聖殉教者が描かれています。聖地巡礼の時ナザレの聖マリア教会にも描かれていたことを思い出しました。

町の門近くには1615年慶長遣欧使節団の長として教皇パウロ5世に謁見した支倉常長（はせくらつねなが）の像が建っています。彼の霊名はドン・フィリッポ・フランシスコ。遠藤周作の‘侍’のモデルにもなっています。

次号はラヴェンナの二十六聖殉教者、聖アポリナレ・ヌオヴォ教会とアッシジの聖フランシスコ教会です。

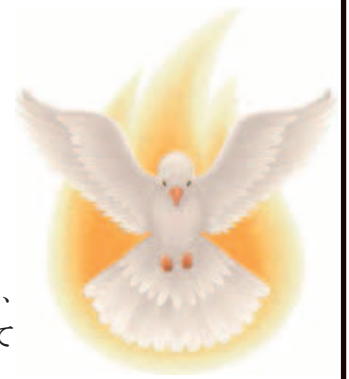


教会ごよみ（五月）

日	曜	典 礼（ミ サ）	備 考	そ の 他
1	金	初金ミサ（9：30）		
3	日	主日ミサ（9：00）	復活節第5主日	
8	金	週日ミサ（9：30）		
10	日	主日ミサ（9：00）	復活節第6主日	教会委員会
13	水			聖書の会（10：00）
15	金	週日ミサ（9：30）		
17	日	主日ミサ（9：00）	主の昇天〔祭〕	信徒の会
20	水			聖書の会（10：00）
22	金	週日ミサ（9：30）		
24	日	主日ミサ（9：00）	聖霊降臨の主日〔祭〕子どもミサ	
27	水			聖書の会（10：00）
29	金	週日ミサ（9：30）		
31	日	主日ミサ（9：00）	三位一体の主日〔祭〕	

～ 中和田の風 ～

震災から四年経って



今年の3月11日で東日本大震災から四年の月日が経ちました。もう四年なのか、まだ四年なのか、それぞれの感じ方をして迎えた事でしょう。私が個人的に感じている事や、カリタス釜石でのボランティア活動について書く機会を頂きました。

今でも、あの日夜遅くTVの画面に映し出された情景と、まさか釜石(私の故里)は、姉や親戚は大丈夫なのかと思いながら、まったく連絡が取れなくなり、ネットやTVの情報が詳細に成るにつれ、ただならない状況だとあせりだした事を思い出します。

その年の6月、瓦礫の町になった釜石を訪れ何も出来ないまま、一年がたち、二年目の6月に再度訪れた町は、瓦礫も片付けられ何も無くなっていました。私の故里が消えたと思いました。人が住んでいた形の瓦礫があった時よりも、もっと悲しい想いがしました。帰りに立ち寄ったカリタス釜石ベースで「ボランティアに来てください。お茶を飲んで話しするだけですから。」とスタッフに誘われました。何も出来ないと悶々としていた私は、お茶を飲んで話しするなら私にもボランティアが出来るかもしれない。私にも手伝える事があり、受け入れ場所があるなら、少し勇気を出して参加してみようと決めたものの、実行するまでに3か月もかかってしまいました。それから釜石行きが始まりました。中和田共同体の方々も参加してくださいました。一人でも多くの方に現状を見て頂きたかったので、快く協力くださった皆様に感謝しています。

今までささやかな活動を続けられたのは、家族の協力、訪れる度に素晴らしい出会いが有り、被災者の方々と話しているのに、私の方が元気づけられたり、無償のボランティア活動をズーッと継続して釜石まで来てくださる方々への感謝の気持ち、特に挫けそうになる私の背を後押ししてくださる聖霊の働きかけを強く感じられる事ではないのかなあとと思っています。

今年は仮設から復興住宅に引っ越す方たちもいて、少しずつ変わり始めました。四年と言う歳月はお年寄りにとってやはり重いものだったように感じられます。復興住宅に移る喜びよりも、やっと慣れた環境が変わる事への不安の方が大きいようです。震災直後から言われていた復興格差が、ここでも顕著になってきています。自立再建の目途が立っている住民とそうでない住民。両者の間にある目に見えない境界線。被災者と被災しない住民との溝、いろいろな問題があります。

カリタス釜石では、今まで仮設で行っているお茶っこ(東北弁)とよばれるサロン、個人的なカウンセリングと見守り、社共と協賛している事業、一人暮らしの方への給食配達、復興住宅でのコミュニティ作りの協力や引越しの手伝いなど、まだまだ山積みの課題を抱えています。特に釜石ベースはより地域に根ざし一人一人に寄り添う活動をするために、常にいのちを最優先に支援する活動をめざすNPO法人になりました。現在はカリタスからの援助や皆様からのご寄付で補われているようですが、長く自立した活動を続けるためには、個人の継続した資金援助の必要性に迫られているようです。釜石だけに限らず、カリタスの各ベースも同様なのではないかと思われます。今までも中和田共同体の皆様には温かいご支援を頂いておりますが、これからも息の長いご支援をどうかよろしくお願いいたします。



最後に3月のカトリック新聞に仙台教区の平賀司教様が書かれていた言葉をお借りしました。「どこでも出来る支援の一番の事は“忘れない”事を意識し絆を確認する『祈り』なのではないかと思います。」

(横塚郁子)

聖母月にあたって

主のご受難、ご復活に先立つ3月25日は「神のお告げの日」でした。天使ガブリエルをとおして告げられた神様からの告知を受け入れて、神の御子であるイエス様を身ごもられて以来、マリア様は、母としてまた一人の女性として、時に胸を剣で刺しぬかれるほどの思いをなさりながら、イエス様の受難の最期の時まで神様のみ旨に従順に、謙遜に生きてこられました。マリア様は、主によって救いの出来事の中に置かれた一人の女性としての重要な存在でした。また一方で、日常的には、イエス様に従った弟子たちにとって、それとなく寄り添い、彼らの思いをイエス様に取り次がれた支援者、理解者としての存在でもあったであろうと想像します。このように強さ、やさしさ、謙虚さ、そしてさらに女性特有の豊かな感性を備えられたマリア様の中に、私は女性として見倣うべき姿を見る思いがいたします。

いま世界ではいろんな場面での女性の活躍、進出がみられる時代となっています。そうです、「謙虚」とは引き下がって、だまって従うだけのことではないと思うのです。神様が与えになった人間としての使命に加えて、女性に特有の使命と尊厳を生きることなのではないでしょうか。男性にも同じように男性に特有の使命と尊厳があります。お互いの存在を認め、受け入れ、尊重し、支え合う関係の中で、聖霊が必要なところに必要なものを備えてくださり、社会や教会を豊かでいきいきとしたものに導いて下さるのではないかと思います。

女性みなさま、マリア様に倣って、祈りのうちに自分に呼びかけられている使命に耳を傾けながら、これからも様々な場面に前向きに関わって参りましょう。

(教会副委員長 岩崎 好愛)



信徒の会

信徒の会の会長をとのお話を頂いた時は正に晴天の霹靂でした。信徒歴4年目ではあり得ないと思いましたが、2月の例会に参加された方々のご支持を頂いたということをお聞きするとその声に応えなくてはという思いも芽生え、信徒の会を切り盛りするお世話役なら出来るのではと考えお引き受けしました。

4月19日(日)の信徒の会はサロン形式で行いました。今後信徒の会をどのような会にしていくのか、方向付けをするため皆様のご意見を伺いました。大方共通のご意見は、もっと若い人に関わってほしい、宣教ということを踏まえ、映画鑑賞会、子育てに関する講演会(モンテソーリ教育)など、地域の方を巻き込む会を開催したい等、力強く前向きな提案が次々と出されました。

まず手始めに6月21日(日)ミニバザーを開催するにあたり地域の方々もお誘いしてサロンコーナーを設けようということになりました。サロンには是非とも若い中高大学生の皆さんにお手伝いをお願いしたいとの声が上がりました。

最後に「信徒の会は各グループ活動の枠を越えて交わることができる場である」という貴重なご意見があったことをご紹介します。皆様お一人一人の信徒の会ですので、まずはサロンにだけでも気軽にお立ち寄りください。

次回5月17日(日)は、子(孫)育てに関し「家庭での信仰教育」の分かち合いを予定しております。また「信徒の会」の新名称を募集いたします。皆様からのユニークなご提案お待ちしております。(信徒の会担当 今井 暁子)

ご復活おめでとうございます

聖週間～復活の主日ミサ・祝賀会までの一連の典礼、行事が無事終了しました。

ご復活の喜びを分かち合うと共に、私たち信徒が気持ちを新たにして前に進むことが出来ますように



バザー・グループだより

復活の主日が過ぎ、今年もバザーの準備を始める時期になりましたが、バザー実行委員の代表をお引き受けすることになってしまいました。高齢化をはじめいろいろな課題が山積みですが、例年のように皆さまと一緒に準備を進めてまいりますので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。バザーは中和田教会信者全員の自主的な活動であり、ご近所や他教会など、普段は教会に來ない方々にも来て頂けるチャンスですので、宣教の為に素晴らしい活動と思います。その準備のために、毎月第4日曜日にバザー実行委員会を開催して、ご相談しながら進めてまいります。皆さまのご参加を宜しくお願い申し上げます。

また今年は、10月に予定されている本番のバザーに加えて、ミニバザーを6月21日のミサ後に開催することになりました。

販売品目としては、夏物中古衣料品、神父様の山野草の鉢物、畑の無農薬野菜、手作品、修道院のクッキーなど予定しています。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に・・・いろいろ行き届かない点もあると思いますが、お助け下さいますよう宜しくお願いします。

(小野和江)

委員会だより (文中敬称略)

△4月12日(日) 11名出席▽

■日野神父様のお話

・教皇フランシスコ様について書かれた本がありますが、その中に教皇様の紋章があります。その一部分には、イエズス会の紋章が入っています。イタリヤでは、フランシスコ教皇様は人気があります。世界中に平和を届けられるかを考えておられます。色々な面で改革をされています。

・新年度の4月から、よろしくお願ひします。

■各グループからの報告

●委員長(岩淵)

・第5地区の災害時連絡員一覧表を送った。主任司祭以下4名の名前を書いて送った。

・9月の防災訓練時に被害報告書を第5地区災害対策センターに送る演技をする。センター教会は大船教会です。

●典礼(小野)

・聖週間復活の主日までについて、何か気付いた点があれば、お知らせください。

・他教会でも、それぞれの歴史や実情を踏まえていろいろな工夫されている。中和田教会のミサ典礼に関して、ご提案があれば是非典礼Gにお寄せ願ひたい。

・4・5月の典礼暦の確認。

・「ミサ中の聖体拝領の方法に関する指針」(司教協議会)に関し、中和田教会の経緯や実情を踏まえて、

当面の対応指針を決めた。

・「聖体授与の臨時の奉仕者」の研修の受講者は、神父様のご推薦による。

●財務(甲斐)

・一般会計月次報告、建設会計月次報告、愛の献金月次報告が行われた。

●宣教(岩崎)

・本日、湘南キリスト教セミナー実行委員会が行われる。6月には講師を決めたい。

・森脇さん提案の「月と木星の天体観測会」については、決まり次第お知らせします。

●要理(保科)

・5月17日に湘南白百合学園で第5地区運動会が行われる。サマーキャンプは、8月初旬に行う予定。

・毎月第4(日)に、神父様に要理学校でお話していただく。子ども達はとても楽しみにしている。初聖体のお勉強の該当者は2人です。

●福祉(楠田)

・四旬節愛の献金をカリタス・ジャパンに送ります。

・東日本大震災の避難用住宅の期間延長の署名を送った。

・毛糸の帽子を末吉町教会に送った。御礼状が届いた。

・ホームレス支援のために、米・梅干し・漬物を届けた。お肉の寄付も届けた。お肉入りのカレーや豚汁が喜ばれた。

・3月11日に、東日本大震災のためのごミサがあり、その参加者の献金を仙台サポートセンターに送っ

た。(岩崎)

●広報(武田)

・原稿依頼(締切4月22日)

●総務(上野)

・5月のホワイトボード確認。
・郵便物を各グループ別にレターケースに仕分けしているので、確認してください。

●行事(石井(洋))

・復活祭のパーティーは、無事に終わりました。前日準備、当日の持ち寄りなど、ご協力ありがとうございました。卵は、武田(安)さんからの御寄付です。ビンゴが喜ばれました。神父様からの景品がありました。持ち寄りは強制ではありません。

●バザー委員会(岩淵)

・6月の第4週にミニバザーを実施する。バザー委員長に小野和江さんが決まった。

■その他報告事項

・月修配布資料について、説明された。
・スケジュール確認(4月)
・グルニエ神父様への寄せ書き等を送付した。

■討議事項

・新しく「教会建物の将来を考える会」を起こすので、今迄の「教会建物を考える会」のメンバー以外に、特に若い方、女性の方にご参加願ひたい。どんな構想を持つべきなのか、他教会の例など情報を集めて考えていきたい。これから募集します。

(次回委員会 5月10日) 以上